



スピーカーシステム

# NS-CF101

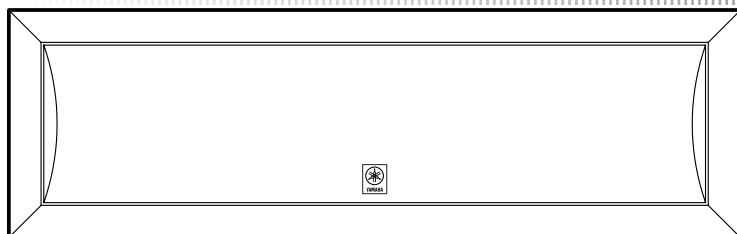
## 取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。

ヤマハスピーカーシステムNS-CF101をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

### 保証書別添付



### 目次

安全上のご注意.....	2
パッケージの内容.....	5
スピーカーの取り付け.....	6
アンプの接続.....	8
フロントカバーの取り外し.....	9
スピーカーの設置.....	10
仕様.....	10

# 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

## 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 絵表示の例



気をつけなければならない内容を表示しています。  
たとえば ⚠ は「感電注意」を示しています。



してはいけない行為を表しています。  
たとえば 🚫 は「分解禁止」を示しています。



必ずしなければならない行為を表しています。  
たとえば 🔌 は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。



## 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



水ぬれ禁止

### 本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
  - 加湿器を過度にきかせた部屋
  - 雨や雪、水がかかるところ
- 水滴の混入により火災や感電の原因となります。



分解禁止

### 分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因となります。  
修理・調整は販売店にご依頼ください。



必ず行う

### スピーカーケーブルは必ず壁等に固定する。

ケーブルに足や手を引っかけるとスピーカーが転倒・落下し、故障したり、けがの原因となります。



必ず行う

### 取付け後は必ず安全性を確認する。

また、定期的に転倒・落下の可能性がないか安全点検を実施してください。  
取付け箇所、取付け方法の不備による事故等の責任は、一切負いかねますのでご了承ください。



## 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

**不安定な場所や振動する場所には設置しない。**

本機が落下や転倒してけがの原因となることがあります。



禁止

**直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。**

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因となることがあります。



必ず行う

**電源を入れる前や再生を始める前には、アンプの音量（ボリューム）を最小にする。**

突然大きな音が出て聴力障害等の原因となることがあります。



禁止

**長時間音が歪んだ状態で使用しない。**

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

**ほこりや湿気の多い場所に設置しない。**

ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

**薬物厳禁**

**ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。**

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



注意

**スピーカーを設置する際は、以下のことに注意する。**

- 壁に取り付ける場合、くぎなどの抜けやすいものは絶対に使用しないでください。
- 薄いベニヤ板の壁や柔らかい壁には取り付けないでください。
- 壁や天井に取り付ける場合、必ず指定されたスピーカーブラケットを使用してください。  
正しい取付け方法をしないと、スピーカーが落下して、けがの原因となることがあります。



必ず行う

**スピーカーとスピーカースタンドは必ず指定されたネジを使用して固定する。**

スピーカーが落下すると、けがの原因となることがあります。



## 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

**本機に乗ったり、ぶら下がったり、寄りかかったりしない。**

転倒・落下したり破損したりして、けがの原因となることがあります。



プラグを抜く

**移動する場合は、アンプの電源スイッチを切り、接続コードを外してから行ってください。**

転倒・落下して、けがの原因となることがあります。



注意

**接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、アンプの電源を切り、説明に従って接続してください。**



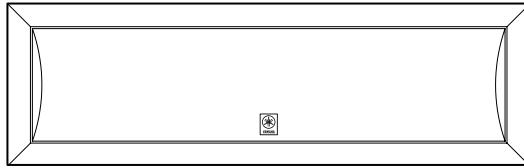
### 音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなでお楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

## パッケージの内容

パッケージには以下の品目が入っています。梱包を開けたらすぐにお確かめください。

センタースピーカー



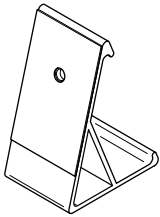
スピーカー x 1

スピーカーケーブル



4 m x 1

センタースピーカースタンド



x 1

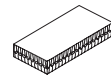
スピーカー取付用ネジ  
(専用インチネジ)



サイズ 1/4" x 3/4"

x 1

固定テープ



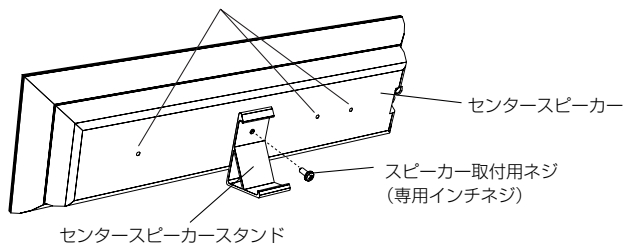
x 2

## スピーカーの取り付け

付属のスピーカースタンドをご使用ください。他の取り付け金具、またはスタンドはご使用にならないでください。スピーカーの背面にある穴を使用すれば壁にかけられることもできます。

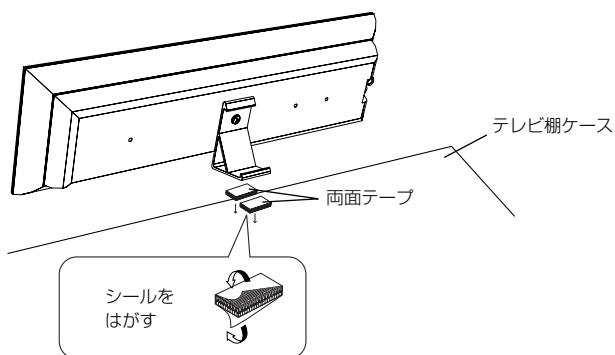
### センタースピーカースタンドにネジで取り付け

\*これらのネジ穴にセンタースピーカースタンドを取り付けしないでください。



### センタースピーカーの机上設置

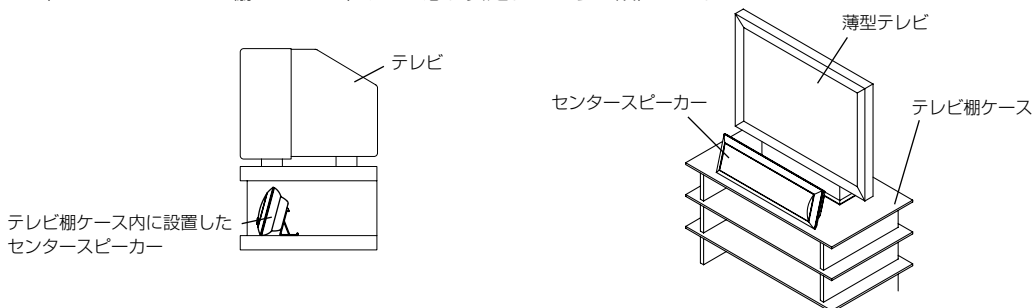
下図のように付属の固定テープ（2個）をスピーカースタンドに貼り、スピーカーを固定します。



### 注意：

- 固定テープのシールをはがした後は、接着面にはさわらないでください。テープの接着力が弱まり、スピーカーが落下する原因になります。
- 固定テープを貼る前に、固定する面をきれいに拭いてください。表面が汚れていたり、濡れていたりすると、テープの接着力が弱まり、スピーカーが落下する原因になります。

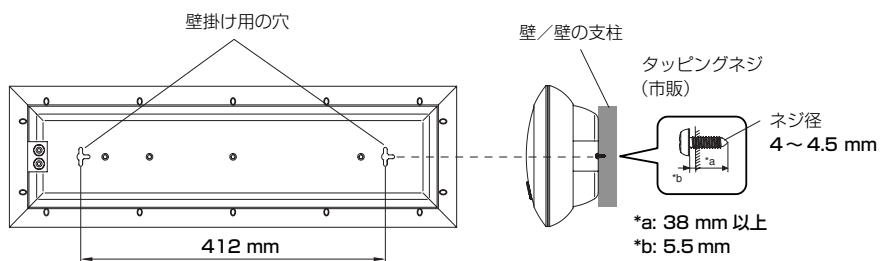
テレビの下、あるいはテレビ棚ケースの中などに必ず安定するように設置します。



### 注意：

- スピーカーをテレビの上に置かないでください。スピーカーが落下してけがをすることがあります。

## センタースピーカーを壁に取り付ける



固い壁に図のようにネジを締め、ネジの飛び出た部分にスピーカー背面の穴を掛けます。  
ネジが壁掛け用の穴の狭い部分にしっかり入るようにしてください

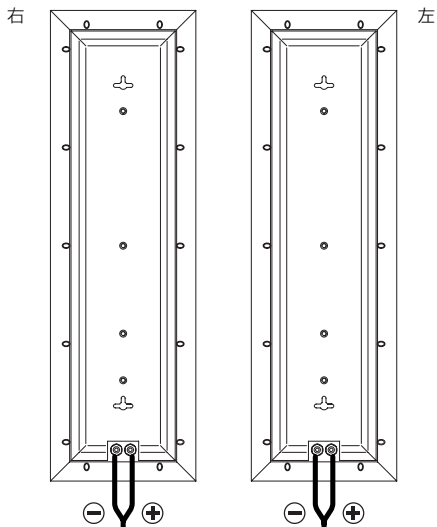
### 警告：

- スピーカー1台の重量は3.6kgです。薄い化粧ベニヤ板や表面がモルタルなど、はがれやすい材質の壁にはスピーカーを取り付けしないでください。ネジが抜けてスピーカーが落下するおそれがあり、スピーカーの損傷やけがの原因になります。
- 釘や接着剤、その他の不安定な金具でスピーカーを壁に取り付けしないでください。長期間使用したり振動を受けたりすると、スピーカーが落下することがあります。
- スピーカーケーブルに引っ掛けてけがをしないよう、ケーブルを壁に固定してください。
- 取り付け場所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。

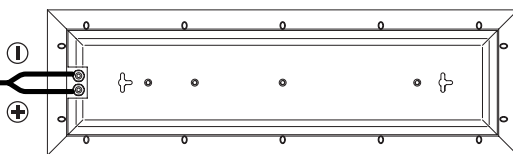
# アンプの接続

接続前に、必ずアンプやレシーバーの電源を切ってください。

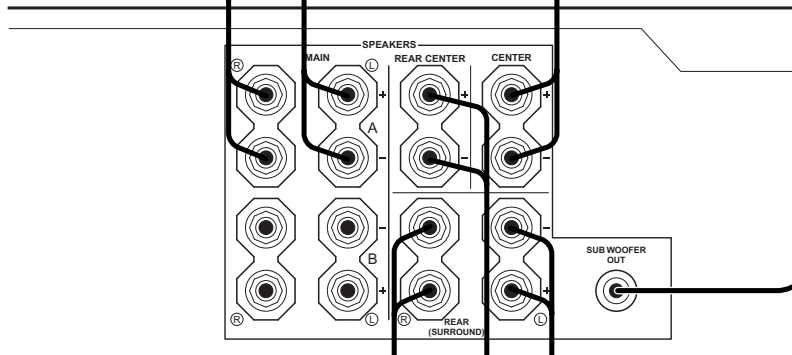
フロントスピーカー (NS-F101: 別売)



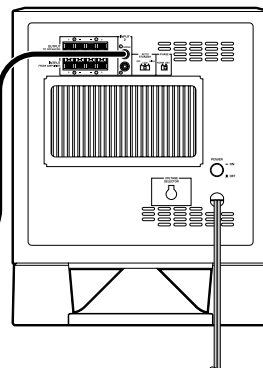
センタースピーカー



アンプまたは  
レシーバー



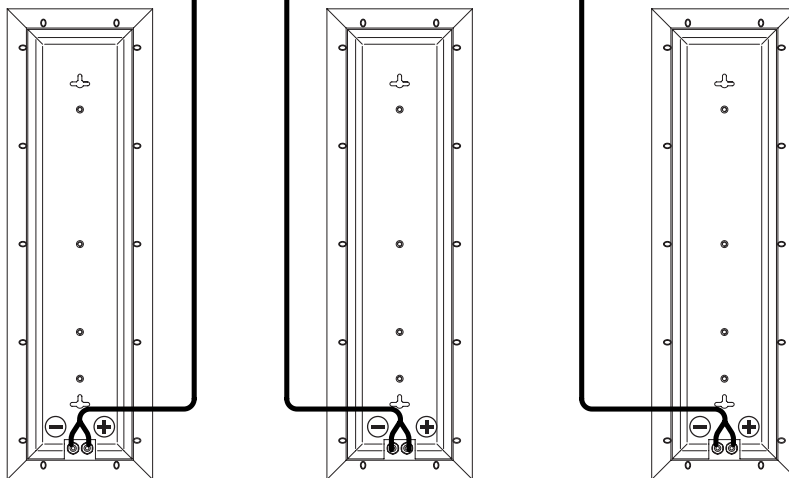
サブウーファースystem  
(別売)



右

バック

左



サラウンドスピーカー (NS-F101: 別売)



## 接続

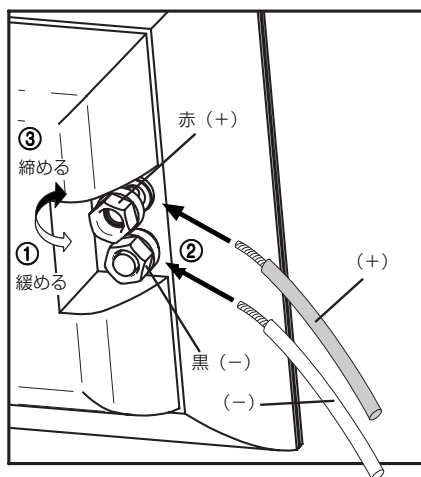
- 付属のスピーカーケーブルで、スピーカー背面にあるネジ型入力端子をアンプ（またはレシーバー）のスピーカー出力端子に接続します。
- アンプ（またはレシーバー）とスピーカーのそれぞれの+端子をケーブル両端の+側用の線で接続し、-端子をケーブル両端の-側用の線で接続します。

### 注意：

- スピーカーケーブルの芯線の部分が互いに接触しないようにしてください。接触するとスピーカーやアンプが損傷することがあります。
- 1台のスピーカーをアンプの左チャンネル端子へ、もう1台を右チャンネル端子へ接続します。極性（+/-）を逆に接続しないようご注意ください。極性を逆に接続すると不自然で低域が欠けた音になります。

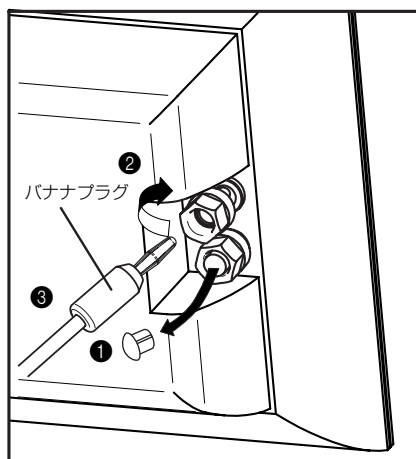
### 接続方法

- ① 端子のノブをゆるめます。
- ② 芯線を挿入します。スピーカーケーブルの端の絶縁外被をひねりながら取り除き芯線を出してください。
- ③ ノブを締めてケーブルを固定します。端子付近のケーブルを軽く引っ張って、しっかり接続されているか確認してください。

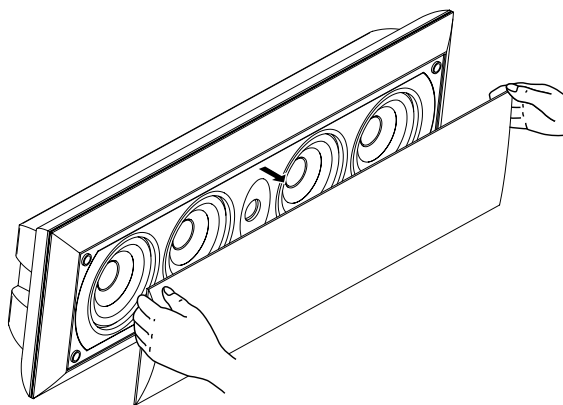


### バナナプラグの接続

- ① 端子カバーを抜き取ります。
- ② 端子ノブを締めます。
- ③ バナナプラグを端子に差し込みます。



## フロントカバーの取り外し



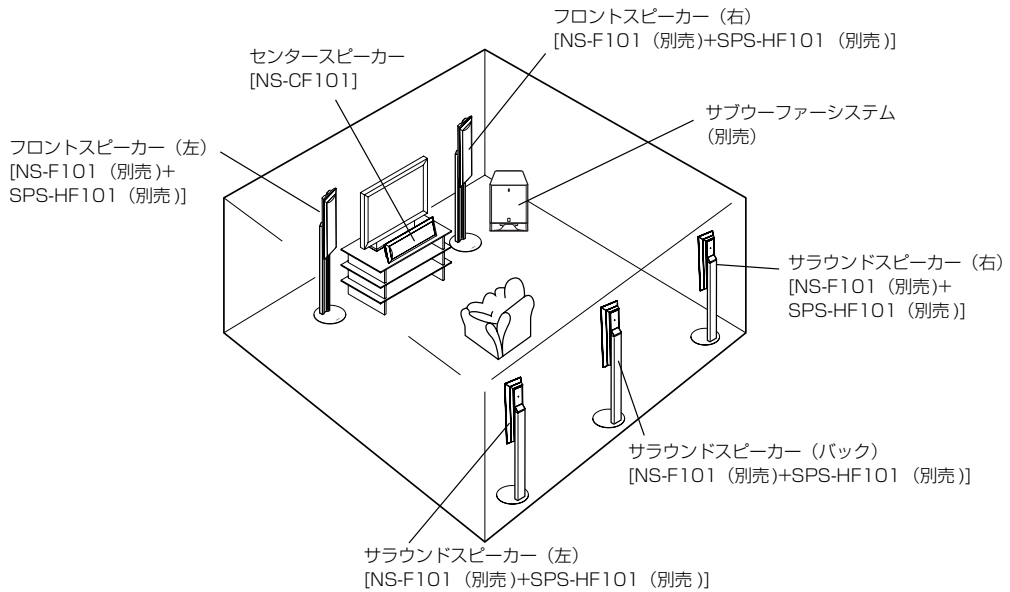
フロントカバーは4箇所ですピーカー本体に取り付けられており、必要に応じて取り外すことができます。取り外すには、カバーの両端を持ってスピーカーの面に対してまっすぐ上にゆっくりと持ち上げるようにして外します。取り付けには、カバー内側にある4つの穴をスピーカー上の4つの突起部に合わせ、ゆっくりと押し込んで取り付けます。

### 注意：

カバーを外したら、手でスピーカーユニットに触ったり、ツールなどで過度な負荷を与えないでください。

## スピーカーの設置

本製品はフロントスピーカーとしてもサラウンドスピーカーとしてもご使用になれます。  
図に従ってスピーカーを設置してください。



### 注意：

- テレビの映像が乱れたり、色ムラなどが生じる場合は、スピーカーをテレビから離して設置してください。

## 仕様

型式	3ウェイ・密閉、防磁型
スピーカーユニット	10cmコーン型ウーファー 1.9cmソフトドーム・ツイーター
再生周波数帯域	100Hz～40kHz
入力インピーダンス	6Ω
許容入力	35W
最大入力	120W
出力音圧レベル	83dB/2.83V/m
クロスオーバー周波数	600Hz・6kHz
外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	605 x 187 x 99.3 mm
質量	3.6 kg

\* 仕様、外観および記載内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

# ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

## ● ヤマハ電気音響製品サービス拠点

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西 1-1-50 ヤマハセンター内  
TEL (011) 512-6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町 5-7  
仙台卸商共同配送センター 3F  
TEL (022) 236-0249

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島 2丁目 1番 1号  
京浜トラクターミナル内 14号棟 A-5F  
TEL (03) 5762-2121

浜松 〒435-0016 浜松市和田町 200 ヤマハ(株) 和田工場内  
TEL (053) 465-6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町 2-1-2  
ヤマハ(株) 名古屋流通センター 3F  
TEL (052) 652-2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下 1-16 ヤマハ(株) 千里丘センター内  
TEL (06) 6877-5262

四国 〒760-0029 高松市丸亀町 8-7  
(株) ヤマハミュージック神戸 高松店内  
TEL (087) 822-3045

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前 2-11-4  
TEL (092) 472-2134

## ● 保証期間

お買い上げ日より1年間です。

## ● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

## ● 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

## ● 修理料金の仕組み

◆ 技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

◆ 部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

◆ 出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

## ● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ● 持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

## ● 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

## ● スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

## ● 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

### 摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくために AV 製品全般について記載しております。

## 愛情点検



### ★永年ご使用の製品の点検を!

#### こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



#### すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。  
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

製品の機能や取扱いに関するお問い合わせは、お客様ご相談センターにご連絡ください。

### お客様ご相談センター

TEL (0570) 01-1808 (ナビダイヤル)

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460-3409

FAX (053) 460-3459

住所 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町 10-1

ご相談受付時間 10:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 18:00

(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)



本製品主要部のはんだ付けには無鉛はんだを使用しています。